

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日		
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	10	8	3		
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	11	7	7		
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0		
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	0	3	2		
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	0	3	0		
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	3	2	2		
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0	0		
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0		

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第50週(12月9日~12月15日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			2		3	1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1						1	
四類	1	つつが虫病	1	1						
五類	20	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		急性脳炎	1					1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	2					2		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1					
		侵襲性肺炎球菌感染症	4					2	1	1
		梅毒	4					3		1
		百日咳	4					4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり24.00人の報告があり、増加が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は37件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
 第50週 A型:178人、B型:0人

2 感染性胃腸炎

定点当たり4.83人の報告がありました。例年12月から翌年1月に流行のピークとなる傾向があります。手洗いの徹底、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策に努めましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.69人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
インフル	インフルエンザ	864	24.00	10.71	▲	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.36		▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	61	1.69		▶		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.05		▶	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
小児科	RSウイルス感染症	11	0.48	0.08		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03		▶	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	6	0.26	1.54			流行性角結膜炎	5	0.63	0.48		▶	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.69	▶		細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	111	4.83	5.61	▶	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	水痘	3	0.13	0.23			マイコプラズマ肺炎	31	5.17	-	▶			
	手足口病	8	0.35	0.88			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	2	0.09	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	突発性発しん	7	0.30	0.34										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	100	40歳代、70歳代、90歳代
5	アメーバ赤痢	1	4	40歳代
5	急性脳炎	1	8	10歳未満
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	4	60歳代、80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	19	50歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	8	20歳代・エイズ
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	13	10歳未満、60歳代
5	梅毒	3	158	30歳代・2人、40歳代・1人
5	百日咳	4	38	10歳未満・1人、40歳代・2人、50歳代・1人